

耐震診断の結果【校舎】

学校名	棟	面積(m ²)	建物の種別	第2次診断	
				Is 値	CTU・SD値
拳ノ川小学校		1,388	R2	1.04	0.52
伊与喜小学校		1,148	R2	0.85	0.46
	継足棟	125	R1	新基準による施設	
佐賀小学校	北棟	925	R2	0.54	0.57
	南棟	1,113	R2	0.37	0.29
	東棟	300	R2	1.01	0.57
伊田小学校		1,200	R3	新基準による施設	
上川口小学校		1,416	R2	新基準による施設	
南郷小学校		1,950	R3	新基準による施設	
入野小学校	南棟	1,756	R2	0.35	0.47
	北棟	1,076	R2	0.27	0.36
田ノ口小学校		1,059	R2	0.66	0.54
	継足棟	99	R2	1.46	0.77
三浦小学校		1,437	R2	0.31	0.43
佐賀中学校		2,095	R3	0.20	0.26
大方中学校	南棟	1,322	R2	0.52	0.55
	中棟	1,100	R2	0.55	0.58
	北棟	1,136	R2	0.58	0.61
	技術棟	263	S1	0.60	1.19

※注). 大方中学校技術棟(鉄骨造)のCTU・SD値欄は、q値です。

耐震診断の結果【屋内運動場】

				第2次診断	
学校名	棟	面積(m ²)	種別	Is 値	q 値
拳ノ川小学校	屋体	636	S2	0.11	0.34
伊与喜小学校	屋体	636	S2	0.03	0.10
佐賀小学校	屋体	654	S2	0.11	0.35
伊田小学校	屋体	594	S2	新基準による施設	
上川口小学校	屋体	594	S2	新基準による施設	
南郷小学校	屋体	601	S2	新基準による施設	
入野小学校	屋体	636	S1	0.28	0.86
田ノ口小学校	屋体	532	S1	0.63	1.93
三浦小学校	屋体	450	S1	0.17	0.53
佐賀中学校	屋体	743	S・R2	0.34	0.14
大方中学校	武道館	449	S2	新基準による施設	
	屋体	1,138	S1	新基準による施設	

※注). 佐賀中学校屋体(鉄骨・鉄筋コンクリート造)のq値欄は、CTU・SD値です。

耐震化の必要な建物とは、昭和56年5月末までに、建築確認を受けて着工した施設が対象です。したがって、昭和56年6月以降の新基準に基づき、建築確認を受けて着工した施設については、耐震化の対象外とされています。(表中、「新基準による施設」と記載)

§ 用語説明

■「種別」のうち、「R」は鉄筋コンクリート造、「S」は鉄骨造の施設を表します。また、それぞれの数字は、階数(R2であれば、鉄筋コンクリート造2階建て)を表します。

■「第2次診断」とは、柱・壁のコンクリート断面積に加え、配筋量から診断するもので、柱、壁、コンクリート強度、鉄筋量から建物の強さと粘りを推定し、梁の耐力が充分と仮定し、柱、壁から強度指数を計算し耐震性能を求めます。したがって、現地で亀裂の把握やコアサンプルの採取を行い、強度試験及び中性化の状況について診断します。

■「 I_s 値(構造耐震指標)」とは、耐震診断の結果、建物の強度、形状、経年劣化の要因等から評価される建物の耐震性能を表す指標です。

国土交通省の「耐震改修促進法における技術的指針」によれば、 I_s 値0.6以上の場合、耐震性のある建物と定義されますが、文部科学省では地震時における児童生徒等の安全確保を十分なものとするために、 I_s 値0.7以上を基準値として設定しています。したがって、 I_s 値0.7未満の建物は、0.7以上になるよう補強する必要があります。

なお、国土交通省告示(平成18年第184号)では、以下のように定められています。

I_s 値が0.6以上	地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が低い
I_s 値が0.3以上 0.6未満	地震に対して倒壊又は崩壊する危険性がある
I_s 値が0.3未満	地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が高い

■「 $CTU \cdot SD$ 値」とは、建物にある程度の強度を確保する目的の建物の形状(SD)や累積強度(CTU)の指標に関する判定基準です。 I_s 値が高くても $CTU \cdot SD$ 値が0.3未満の場合は危険性があるとされています。主に鉄筋コンクリート造の建築物に適用されます。

■「 q 値(保有水平耐力に係る指標)」とは、建物が地震による水平方向の力に対して対応する強さをいい、各階の柱、耐力壁、筋交いが負担する水平せん断力の和として求められる値をいいます。保有水平耐力に係る指標(q 値)は、1.0以上あれば倒壊や崩壊の危険性が低く、1.0未満では危険性があるとされています。主に、鉄骨造の建築物に適用されます。